

# 『ノーリフティングケアが現場にもたらした効果』

在宅復帰に向けて、ノーリフティングケアの発信



2021年5月13日（木）

社会医療法人 福西会

介護老人保健施設 さわら老健センター

## ノーリフティングケア研修導入前は・・・

腰痛はあるけれど、抱え上げたり持ち上げたりして介助するしかないよね…。



人員不足で新しい知識や技術を学ぶ余裕もない…。

業務改善というけど、具体的にどうしたらいいのかわからない…。

全職員が「より良い仕事とは何か」を考えて行動できる職場にしたい！

誰もが「さわら老健センターで働きたい！」と言われる職場にしたい！

「変わらない」  
「変えられない」  
職場文化を変えたい！



## さわら老健センター ノーリフティングケア導入での効果は？

- ① ノーリフティングケアに対する意識があがった！
- ② 福祉用具を交えた多職種でのコミュニケーション能力があがった！
- ③ 「変わらない」「変えられない」文化からの脱却とその期待値があがった！

# 1. ノーリフティングケアに対する意識があがった！

## 【Before】

カンファレンス等で福祉用具の必要性について議題に上がることは無かった…



## 【After】

カンファレンスでは、福祉用具の必要性の有無や介助方法などを必ず議題に挙げて話し合うようにしている。

## 『 カンファレンスの様子 』



# 1. ノーリフティングケアに対する意識があがった！

## 【Before】

移乗動作の評価はリハビリ任せ…  
評価はするけど、『抱えあげ』は変わらない。



## 【After】

利用者の移乗介助の時など、日頃、  
スタッフ間で**ノーリフティングケア**  
**の視点**で話し合っている姿が増えた。

### 『 移動動作の評価と検討 』



# 1. ノーリフティングケアに対する意識があがった！

## 【Before】

『気づき』という言葉は知っていたが、それを集約して職員に周知する方法に移れていなかった。



## 【After】

『気づきボード』を使用するようになりノーリフティングケア、業務改善に対する意識があがり、業務改善の意識が向上してきている。

## 『気づきボード』



老健センターの車椅子使用者  
タイヤの空気入っているか  
チェックし方が正しい。  
特に自分でこいている人は  
車椅子が重くなるので注意。

機械浴用の車椅子の  
タイヤの重さが悪い。  
利用者の足に当たる  
可能性がある。

# 1. ノーリフティングケアに対する意識があがった！

## 【Before】

リフト開始時 ⇒ 『時間がかかる』との意見が多く聞かれた



## 【After】

現在は、『利用者・職員お互いの負担が減った！』などの意見が多く、時間に対しての不満がなくなった！



### 【重要】

ベッド周囲の環境整備を怠ると時間もかかるし、事故をおこす原因になる。  
リフトを使用する利用者の居室は  
日頃から環境整備を気にかけること！



# 1. ノーリフティングケアに対する意識があがった！

## 【Before】

移乗介助の時に腰が痛くても『あたり前』だと思っていたから、『きつい』なんて言えなかった…。

## 【After】

移乗介助や入浴介助の取組みの中で負担がかかる時は、周りに『きつい』と発言しやすい環境になってきた。



## 2 福祉用具を交えた多職種でのコミュニケーション能力があがった！

【目標】  
リフトは必ず5社からレンタルする！

【結果】  
リフトの高さや操作性、スリングの素材や大きさなど細かいところまで多職種で話し合っている様子

多職種間で自然と話しやすい環境ができてきたことは、利用者にとって適した介助方法の検討や介助方法の統一など、利用者にとってもプラスに働いてきている。

『 リフトの試乗会と検討 』



### 3 「変わらない」「変えられない」 文化からの脱却

統括マネージャーからNPO福祉用具ネット事務局さんへのメールの内容

第4回目の研修修了 2020年11月10日付け

最近、コアメンバーだけでも意見が活発になり、非常にいい流れになってきました。技術講習でも皆、時間外ではありますが、積極的に参加し、すこしでも習ったことを仕事に活かしてくれています。  
まだ研修半ばですが、いい流れになってきたと思います。  
今回の課題や技術講習もタイトではありますが、皆で頑張っていきます。（一部抜粋）

『 ノーリフティングケア研修風景 』



コアメンバーが「変わる・変えられる」という期待感を持つことが出来た事例

# ノーリフティングケア委員会で議論する「気づきボード」の内容

## 気づきボード

R3.3.3現在

### 職員

○職員の制服をリリースしてほしい

### 業務

○1階、2階の廊下に人感センサーライトを設置してほしい

○ステーションから死角になる場所にカメラを設置してモニターをつけて欲しい

○2人起こしの方の柵は壁に立てかけたままにしないでベットに戻して欲しい

○車イスのブレーキ片方の時あり誘導したりテーブルにつけた時は両方ブレーキをかけて欲しい

### 利用者

○以前入所されていた貴原●窓●が使用されていたクッション(2個)家族より密着されています。レク物品庫に入れています。

### 環境

○立ち便器の床が尿で汚れている。シートを置いているが何か対策をして欲しい。(マットなど)

○新しいリフトデモ機のシートの紐が長く利用者の背中に隠くときにあらゆる所に引っかかってしまう  
シートのみの変更がそれができない時は今回のデモ機は今の所使いにくいです。

○ステーションのゴミ箱の紙と紙以外の色分けをハッキリしてほしい。

○リフト機のシートの予備がもう一枚欲しい(失禁などがあると使用出来なくなるため)

○青の手袋はなぜか手に便の臭いがついできます  
小さい穴が空いていたり食品用なのか?

○201側雨の日は廊下が濡れる  
バスタオルをしていない時は利用者がずべる可能性がある。

## 【環境】

「新しいリフトデモ機のシートの紐が長く、利用者の背中に敷く時にあらゆる所に引っかかってしまう。シートのみの変更か、それが出来ない時は今回のデモ機は今のところ使いにくいです。」

今ままでスルーされてきた職員の「気づき」が見える化され、業務に浸透してきた。

職員にも「変える・変えられる」という期待感を持つことが出来るようになってきた。

# ノーリフティングケア 3カ年計画

## さわら老健センター ノーリフティングケアへの取り組み 3カ年計画

### 目標

- ① 実技研修を実施し、職員のスキルアップ
- ② 腰痛アンケートの実施
- ③ 事例を検証する体制作り
- ④ 症例発表

### 3年目

- ① 地域における推進リーダーを目指す。
- ② 法人全体で取り組む環境を作る。
- ③ 施設内・そして地域に在宅復帰支援体制を整備する。

### 2年目

- ① 福岡県事業2年目の指導者育成コースの受講
- ② 法人内での勉強会の開催
- ③ 地域の事業所向け体験会・勉強会の実施

### 1年目

- ① 福岡県ノーリフティングケア普及促進事業への参加
- ② ノーリフティングケアの概念を理解
- ③ 腰痛アンケートの実施



# ノーリフティングケアを地域へ

さらさら老健センター地域に向けてが取り組みたいこと



## 介護老人保健施設としての在宅復帰とその課題

### 【 在宅復帰する上での課題 】

- ① 在宅復帰をさせる際に利用者の問題点を考慮したうえでの福祉用具のマッチングができていたかな？
- ② ご家族や在宅サービス事業者に対して腰痛のリスクなど身体への負担がかかる方法を教えていたのでは？
- ③ もっと福祉用具のことや環境整備を整えていけば在宅に戻れる利用者は増えていたのでは？



# 在宅復帰する上での課題への対応

さわら老健センターとしての取組み

## 在宅復帰・在宅生活支援

### ノーリフティングケア

リハビリ 機能評価・訓練、家屋調査

看護介護 介助方法の検討・環境整備

ケアマネ アセスメント・プランニング

福祉用具 適切な道具の使用と評価



自宅でレンタルできる手すりなどを福祉用具業者に依頼し、ベッドサイドや訓練で使用して、在宅復帰後も同じ道具を利用する。



どのようにして外部の在宅サービスへノーリフティングケアを伝えていけばいいか？

- ① ケアマネージャーをはじめ、訪問介護や訪問看護、在宅サービス向けのノーリフティングケア研修会の開催
- ② 老健の機能の一つである、訪問リハビリの活用



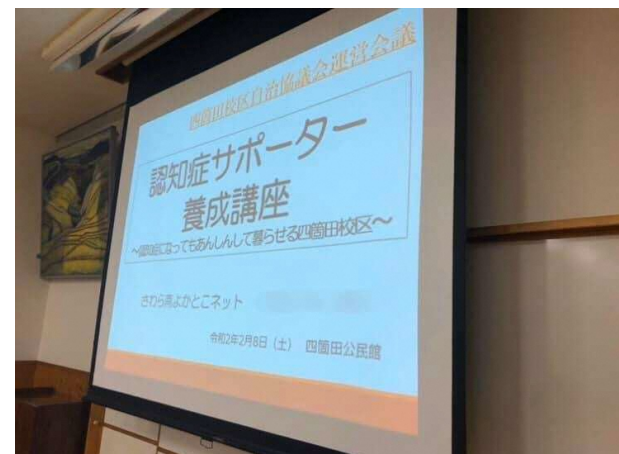
住み慣れた地域で暮らす為の  
ノーリフティングケアの普及が重要

# さわら南よかところネットの連携

2012年設立。現在は福岡市早良区南部の7校区内にある介護や医療、障害サービスなどの70事業所が加盟する。認知症になっても、介護が必要になっても住み慣れた地域で暮らせる環境を確立しようと各地で、

- 介護相談や健康体操などをする  
「**出かけるカフェ**」
- 公民館などで認知症の人への対応方法を  
「**学ぶ講座**」
- デイサービス施設の送迎車を活用した  
「**買い物支援**」

などを行っている。



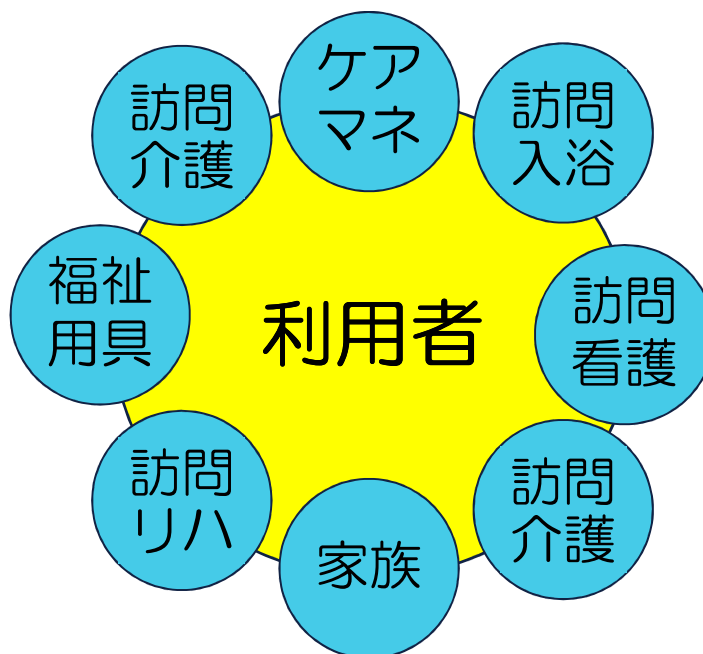
# ノーリフティングケアを推進する 介護老人保健施設の役割として・・・

介護老人保健施設の役割の一つ ⇒ 『在宅復帰』

連携支援



今まで在宅復帰が困難  
と考えていた利用者の  
再アセスメント…



ノーリフティングケアで  
在宅復帰できる可能性を  
拡大させる！